# 平成２９年度
# 図　書　館　事　業　報　告

調 布 市 立 図 書 館

（平成２９年度　図書館事業報告）

調布市立図書館は中央図書館及び１０分館からなる図書館システムを構築し，いつでも，どこでも，だれでも気軽に利用できる図書館を目指して活動しています。市民の読書活動を推進し，様々な情報・資料の収集及び提供を行い，調査・研究の支援拠点であり続けること，また，地域に根ざした市民文化の創造に寄与するため，図書館協議会やボランティア活動等，市民の参加と協働を得て，積極的な図書館活動を展開することを基本方針としています。「調布市教育プラン」において “生涯にわたって自己実現を目指す機会を提供する”ことなど５つの基本方針を設定し，「調布市社会教育計画」においても市民の学びを支えることとしています。

図書館の資料管理，貸出・返却，資料検索などに使用する図書館電算システムの更新を行いました。機器類の交換，中央図書館の座席管理，交通系ＩＣカード利用の導入，インターネットホームページの改良などを行いました。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成１３年１２月１２日法律第１５４号）や「文字・活字文化振興法」（平成１７年７月２９日法律第９１号）が制定された背景には読書離れ，言語力の低下への対応が求められているとあらためて認識し，読書活動の普及に努めてきました。

活動範囲が広がり図書館で調べものをする機会の増える小学校中学年・高学年の児童を対象とする図書館での本の調べ方ガイドブック「図書館で調べものをするときに…」について，調布市立小学校教育研究会図書館研究部と内容の検討を行い，中学年用と高学年用の２種を作成しました。

さらに，障害のある子どもたちへのサービスのため，布の絵本の収集，製作を続けるだけでなく，多くの市民の手にふれてもらえるよう，中央図書館おはなし室をはじめ，各図書館で展示を随時行いました。

図書館利用者懇談会では，テーマを「半径800メートルのしあわせ－図書館を上手に使うための本の探し方－」とし，図書館の資料詳細票の見方や本の探し方を解説し，参加者は，実際に資料確認票を元に本を探しました。第二部では，昨年５０周年を迎え，調布市立図書館がこの５０年で積み上げてきたものを伝え，これからの図書館サービスの展望を考えました。

1　運営関連事業

| 事業名 | 実施日・会場ほか | 事業内容・講師 | 人数 |
|---|---|---|---|
| 図書館協議会<br>（全4回） | 5月18日（木）文化会館<br>たづくり研修室<br>7月20日（木）文化会館<br>たづくり研修室<br>10月26日（木）文化会館<br>たづくり研修室<br>1月25日（木）　文化会館<br>たづくり1001学習室 | 図書館長の諮問機関，委員12人<br>図書館の主要事業についての報告及び審議を行った。 | 延べ42人<br>5月18日 12人<br>7月20日 9人<br>10月26日 10人<br>1月25日 11人 |
| 図書館利用者懇談会<br>（全２回） | 11月16日（木）文化会館<br>たづくり1001学習室<br>12月7日（木）宮の下分館<br>集会室 | 時代の変化をとらえ，ニーズに応える図書館活動を推進するため，利用者の意見を直接伺う懇談会を開催した。<br>第一部のテーマを「半径800メートルのしあわせ－図書館を上手に使うための本の探し方－」とし，図書館の資料詳細票の見方や本の探し方を解説し，参加者は，実際に資料確認票を元に本を探した。<br>第二部では，これからの図書館サービスの展望を考えた。 | 延べ 9人<br>11月16日9人<br>12月7日0人 |
| 図書館だよりの発行 | 年4回<br>6月25日，9月25日，12月25日，3月25日 | 水木しげる氏の作品の表紙，特集記事と図書館情報，連載記事「郷土の歴史と伝承」を掲載した。 | 部数　各1,400部 |
| 調布市立図書館50年のあゆみの発行 | 3月発行 | 昭和41年の図書館開館から平成28年度までの歴史をまとめ，通史と各業務の変遷を詳述し，巻末に年表等の参考資料を付した。 | 部数　360部 |

2　児童サービス関連事業

| 事業名 | 実施日・会場ほか | 事業内容・講師 | 人数ほか |
|---|---|---|---|
| ブックスタート | 健康推進課の1歳6か月児健康診査時<br>保健センター | 受診の幼児と保護者に，図書館推薦絵本リスト「このほんよんで！」（ブックスタート版）と図書館利用案内などを入れた「ブックスタートパック」を配付した。 | 配付部数<br>1,820部 |
| | 健康推進課の3・4か月児健康診査時<br>保健センター | 受診の乳児と保護者に，乳幼児にすすめる絵本リスト「赤ちゃんは絵本がだいすき！」を配付した。 | 配付部数<br>2,000部 |
| おはなし会 | 市内11図書館<br>原則毎週水曜日<br>実施回数　　502回<br>中央図書館　　50回<br>分館　　452回 | 幼児から小学生までを対象に，絵本の読み聞かせ，わらべうたや手遊び，ストーリーテリングなどを組み合わせて実施し，楽しいお話の世界を紹介した。<br>各図書館職員 | 延べ 3,959人<br>中央図書館650人<br>平均 13人<br>最多 36人<br>最少　1人<br>分館 3,309人<br>平均 7.3人<br>最多 40人（佐須）<br>最少 1人（数館） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 0・1・2歳児とその保護者へのおはなし会 | 市内11図書館<br>週1回～隔月1回<br>（館により異なる）<br>実施回数　176回<br>中央図書館　23回<br>分館　153回 | 乳幼児とその保護者に，わらべうたや赤ちゃん絵本の読み聞かせを行うことにより，家庭での親子の触れ合いのきっかけとした。<br>各図書館職員 | 延べ 2,490人<br>中央図書館848人<br>平均 36.9人<br>最多 62人<br>最少 14人<br>分館 1,642人<br>平均約 10.7人<br>最多 29人(若葉)<br>最少 2人（数館） |
| 保育園児・幼稚園児へのおはなし会 | 市内11図書館<br>実施回数 350回 | 保育園児・幼稚園児を対象に，絵本の読み聞かせ，わらべうたや手遊び，ストーリーテリングなどを組み合わせて実施。来館時に団体貸出も行った。<br>各図書館職員 | |
| 子ども発達センターでのおはなし会 | 原則奇数月第2水曜日<br>実施回数（クラス単位）24回<br>子ども発達センター | お話の世界を楽しんでもらうため，子ども発達センターに通う幼児を対象に，クラス単位で絵本や布の絵本の読み聞かせを実施した。団体貸出も行った。<br>図書館職員 | 団体貸出 322冊 |
| 特別支援学級児童へのおはなし会 | 12月11日(月)<br>中央図書館<br>八雲台小学校特別支援学級 | お話の世界を楽しんでもらうため，特別支援学級の児童を対象に，絵本や布の絵本の読み聞かせを行った。<br>図書館職員 | 児童 35人<br>教員等 12人 |
| 適応指導教室「太陽の子」との協力事業 | 9月28日(木)<br>10月19日(木) | お話の世界を楽しんでもらうため，適応指導教室「太陽の子」に通う小学校5年生から6年生までを対象に，調和分館で図書館利用ガイダンスやブックトーク，絵本の読み聞かせを行った。平成26年度から定期的に来館。団体貸出も行った。<br>図書館職員 | 延べ 15人<br>9月28日 7人<br>10月19日 8人<br>団体貸出 182冊 |
| 小学生読書会 | 原則第1日曜日<br>実施回数 10回<br>文化会館たづくり<br>601会議室ほか | 小学校4年生から6年生までを対象に，本の世界の楽しさを知ってもらうため幅広い分野の本を紹介し，工作なども実施した。テーマは「名前のはなし」，「学校の時間割」など<br>図書館職員 | 会員数 20人<br>延べ 66人<br>平均 6.9人<br>最多 10人<br>最少 2人 |
| 子どもの本に親しむ会 | 11月30日(木)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 内容「子どもの本を書き続けてきて」<br>講師　高楼　方子氏 | 131人 |
| 絵本の読み聞かせ講座<br>（全3回） | 第1回10月5日(木)<br>第2回10月12日(木)<br>第3回10月19日(木)<br>第1・2回　文化会館たづくり601・602会議室<br>第3回　文化会館たづくり301・302会議室 | 第1回　読み聞かせの意義・留意点<br>第2回　読み聞かせに向く絵本<br>第3回　受講者の実演<br>図書館職員 | 延べ 51人<br>第1回 19人<br>第2回 19人<br>第3回 13人 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 読み聞かせ交流会 | 10月26日(木)<br>文化会館たづくり<br>601・602会議室 | 市内の幼稚園・学校・児童館などで子どもたちへの絵本の読み聞かせを行っている市民の交流を図るため，また，読み聞かせに興味を持っている方への情報提供の場とするため実施した。 | 10人 |
| 子どもの本を読む会 | 原則奇数月第３火曜日<br>実施回数 8回<br>文化会館たづくり<br>601会議室ほか | 子どもの本を読み合う市民のサークルに対して，児童書の新刊紹介，テーマ選びの際の助言，本や著者に関する調査の支援を行った。 | 延べ　62人 |
| 中学生通信の発行 | 編集会議<br>毎月第2日曜日<br>編集作業<br>毎月最後の水曜日または日曜日<br>文化会館たづくり601会議室ほか | 中学生の交流と図書館利用の促進を目的に，中学生による中学生のための通信「ぶちねこ便」を発行。毎月，図書館及び公民館・市内小中学校図書室を通じて配布。記者との交流，図書館の利用促進のため編集会議の中でビブリオバトル等を行った。 | 会員数 25人<br>会議参加者数<br>延べ 114人 |
| 高校生通信の発行 | 編集会議・作業<br>7月9日(日)<br>12月10日(日)<br>3月11日(日)<br>文化会館たづくり601会議室ほか | 高校生世代と図書館を繋ぐことを目的に，小冊子「prime～高校生の今」を創刊した。図書館及び公民館・市内中・高等学校図書室を通じて配布した。 | 会員数 8人<br>会議参加者数<br>延べ 10人 |
| 小・中学校との協力事業 | ガイダンス実施回数（クラス単位）　57回<br>市内11図書館 | 図書館ガイダンスとして市立小学校の3年生を対象に，図書館利用の促進と読書への動機付けのため，図書館の利用案内や本の紹介を行った。その他，読書旬間の児童集会における読み聞かせ等を要望に応じて実施した。<br>調べ学習の支援として，資料調査と団体貸出を行った。<br>各図書館職員 | 調べ学習受付数<br>100件 |

３　調査支援サービス関連事業

| 事業名 | 実施日・会場ほか | 事業内容・講師 | 人数 |
|---|---|---|---|
| 「まちゼミ」支援 | まちゼミ支援展示<br>第7回調布まちゼミ　6月19日(月)～7月31日(月)<br>第1回柴崎つつじケ丘まちゼミ　1月24日(火)～3月5日(月) | まちゼミ支援のため，参加店舗にあわせた図書リストの配付をおこなうとともに，中央図書館5階でリスト掲載図書の展示をおこなった。 | ― |
| 暮らしに役立つ法務ミニセミナー<br>（全３回） | 第1回　8/26(土)<br>第2回　9/16(土)<br>第3回　9/30(土)<br>文化会館たづくり1002学習室 | 子ども向け「図書館のひみつ」<br>大人向け「図書館の秘密１，２」<br>講師　東京都行政書士会<br>　山賀 良彦氏，寺田 康子氏<br>ちょうふ地域権利擁護センター職員<br>（第2回のみ） | 延べ 20人<br>第1回 11人<br>第2回 4人<br>第3回 5人 |

4　ハンディキャップサービス関連事業

| 事業名 | 実施日・会場ほか | 事業内容・講師 | 人数 |
|---|---|---|---|
| ハンディキャップサービス協力者懇談会 | 4月11日(火)<br>文化会館たづくり601・602会議室 | 活動報告と今年度の計画<br>図書館職員<br>「地域包括支援センターの役割と『みまもっと』について」<br>地域包括支援センター職員 | 18人 |
| ハンディキャップサービス利用者懇談会 | 11月16日(木)<br>文化会館たづくり601・602会議室 | 利用状況の報告と利用者からの意見を直接伺う懇談会を開催した。 | 17人 |
| 音訳者養成講座（中級）（全5回） | 10月12日(木)～11月9日(木)文化会館たづくり601会議室ほか | 「音訳技術の実際」<br>講師　松本 久美子氏 | 9人 |
| 点訳者養成講座（全3回） | 6月15日(木)，22日(木)，29日(木)文化会館たづくり602会議室ほか | 「校正の重要性。本則に則った書き方をする。」<br>講師　片岡 和代氏 | 20人 |
| 布の絵本製作者養成講座（全1回） | 3月7日(水)文化会館たづくり601・602会議室 | 「えあわせカード」の製作<br>講師　野口 光世氏 | 12人 |
| 知的障害者のための読書支援サポート講座（延べ3日間全6コマ） | 1月11日(木)，1月25日(木)，2月8日(木)文化会館たづくり601・602会議室 | 1日目<br>「図書館の障害者サービスと知的障害者」野口武悟氏（専修大学教授）<br>「知的障害者にとってわかりやすい本と視聴覚資料」藤澤和子氏（大和大学教授）<br>2日目<br>「知的障害者との関わり方」打浪文子氏（淑徳大学短期大学部）<br>「知的障害者への代読の方法」吉田くすほみ氏（大阪特別支援教育振興会）<br>3日目<br>「知的障害者への本の紹介と読み聞かせ」（実習付）その1，その2　山内薫氏（元墨田区立ひきふね図書館司書）<br>※藤澤和子氏からの「科研費による研究の協力依頼」に基づき実施 | 1日目　31人<br>2日目　31人<br>3日目　24人 |
| 布の絵本展示 | 随時<br>中央図書館おはなし室及び分館子ども室等（6館）<br>1月27日(土)～29日(月)子ども家庭支援センターすこやか | 図書館所蔵の布の絵本・遊具を展示，紹介した。<br>子ども家庭支援センターすこやかの事業に協力した。 | ―<br>延べ486人 |

5　ボランティア関連事業

| 事業名 | 実施日・会場ほか | 事業内容・講師 | 人数 |
|---|---|---|---|
| 図書館ボランティア説明会 | 5月25日(木)<br>文化会館たづくり1001学習室 | 図書館ボランティアの目標・役割，活動内容紹介と募集案内及び現ボランティアによる活動発表を行った。<br>市民活動支援センター　葛岡　敦氏 | 参加 17人<br>(内新規登録13人) |
| ボランティアミーティング<br>(全3回) | 7月13日(木)<br>12月13日(水)<br>3月1日(木)<br>文化会館たづくり1001学習室及び1002学習室 | ボランティア相互及び職員との親睦を図るために，情報交換，活動報告，登録更新の説明，事務連絡の他に，今年度はレクリエーションゲームやビブリオバトル，調布いろはかるた大会を取り入れた。 | 延べ 31人<br>7月13日 13人<br>12月13日 10人<br>3月1日　8人 |
| サマーボランティア受入れ | 8月23日(水)～24日(木) | 図書館ボランティアを体験する学生を受け入れた。 | 3人 |

6　地域情報化関連事業

| 事業名 | 実施日・会場ほか | 事業内容・講師 | 人数 |
|---|---|---|---|
| 市民の手によるまちの資料情報館（全8回) | 5月14日(日)～3月18日(日) | 「まち角の不思議」「映画のまち調布」「ちょうふ人間模様」「深大寺そば」についてサイト更新した。 | ― |

7　成人対象事業

| 事業名 | 実施日・会場ほか | 内容・講師 | 人数 |
|---|---|---|---|
| 文化講演会 | 6月2日(金)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 「源氏物語と音楽」<br>音楽評論家　小村　公次氏 | 121人 |
| 文芸講演会 | 8月24日(木)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 「戦後文学とアメリカ - 「鐘の鳴る丘」世代からの考察 - 」<br>文芸評論家　勝又　浩氏 | 100人 |
| 文芸講演会 | 10月31日(火)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 「「太平記」の歴史と思想-「太平記」と「平家物語」を比べて - 」<br>学習院大学教授　兵藤　裕己氏 | 133人 |
| 新春講演会 | 1月18日(木)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 「地図でたどる調布の変遷」<br>日本の地図研究家　今尾　恵介氏 | 175人 |
| 初めての方のための読書会<br>（全8回) | 5月20日(土)～3月8日（木)<br>文化会館たづくり<br>601会議室，研修室，1001学習室，1002学習室 | ①　『職業としての小説家』<br>②　『お友だちからお願いします』<br>③　『思い出トランプ』<br>④　『坊っちゃん』<br>⑤　『夢十夜』<br>⑥　『永日小品』<br>⑦　『私の個人主義』<br>⑧　『硝子戸の中』<br>社会教育指導員　青木 笙子氏 | 延べ 76人<br>平均 9.5人<br>最多 14人<br>⑦『私の個人主義』<br>最少6人<br>⑤『夢十夜』 |
| 平和祈念・公開緑陰読書会 | 8月10日(木)<br>文化会館たづくり<br>1001学習室 | 『帰郷』<br>社会教育指導員　青木 笙子氏 | 28人 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 平和祈念・<br>公開納涼読書会 | 8月31日(木)<br>文化会館たづくり<br>1001学習室 | 『祭りの場』<br>社会教育指導員　青木 笙子氏 | 13人 |
| 公開講座<br>（年間4回） | 4月7日(金)～4月22日(土)<br>文化会館たづくり<br>映像シアター，1001学習室ほか | ① 仏教伝来と各宗派成立<br>瓜生　中氏<br>② 短編小説で楽しむ古代の歴史<br>清原　康正氏<br>③ チェーホフの戯曲の特徴とその楽しみ方　木村　敦夫氏<br>④ 『論語』の楽しみ方<br>村岡 弘氏 | 延べ 189人<br>① 77人<br>② 43人<br>③ 30人<br>④ 39人 |
| 文学散歩<br>（年間6回） | 5月31日(水) ～3月13日(火) | ① 栃木県那須野<br>② 築地，佃島<br>③ 神奈川県湘南<br>④ 深川<br>⑤ 静岡県東部<br>⑥ 大田区馬込<br>②④板橋区公文書館職員<br>西　光三氏<br>⑤三嶋大社ボランティアガイド | 延べ 181人<br>① 42人<br>② 23人<br>③ 36人<br>④ 16人<br>⑤ 45人<br>⑥ 19人 |
| 樟まつり<br>文芸講演会 | 2月1日(木)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 「新しい一茶」<br>俳人　長谷川　櫂氏 | 150人 |
| 樟まつり<br>文芸講演会 | 2月4日(土)<br>グリーンホール<br>小ホール | 「宇治拾遺物語のたのしみ方」<br>白百合女子大学教授　伊東　玉美氏 | 101人 |
| 樟まつり<br>歴史講演会 | 2月9日(金)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 「いかにして史実を探るかー本能寺の変を素材としてー」<br>歴史と文化の研究所代表<br>渡邊　大門氏 | 114人 |
| 樟まつり<br>第45回<br>市民歌会 | 2月12日(月・祝)<br>文化会館たづくり<br>映像シアター | 「選評と講話」<br>選者：雁部 貞夫氏，来嶋 靖生氏，<br>小島 ゆかり氏 | 71人 |
| 樟まつり<br>文芸講演会 | 2月14日(水)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 「著書を語る「夫・車谷長吉」」<br>詩人　高橋　順子氏 | 115人 |
| 樟まつり<br>文化講演会 | 2月16日(金)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 「東大寺二月堂『お水取り』の話ー神々を招くー」<br>国際仏教学大学院大学非常勤講師<br>小島　裕子氏 | 147人 |
| 樟まつり<br>第46回<br>市民句会 | 2月19日(月)<br>文化会館たづくり<br>くすのきホール | 「選評と俳話」<br>選者：太田 土男氏，棚山 波朗氏，<br>櫂 未知子氏，坊城 俊樹氏 | 108人 |
| 樟まつり<br>文芸講演会 | 2月20日(火)<br>文化会館たづくり<br>大会議場 | 「こうして小説を書いている」<br>小説家　荻原　浩氏 | 128人 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 樟まつり<br>名画鑑賞会 | 2月23日(金)<br>文化会館たづくり<br>くすのきホール | 「湯を沸かすほどの熱い愛」 | 延べ409人<br>①192人<br>②217人 |
| 樟まつり<br>作品展示 | 2月8日(木)～12日(月)<br>文化会館たづくり<br>南ギャラリー | 調布淡彩画展<br>淡彩画1団体 | 572人 |

８　施設整備

| 事業名 | 実施日・会場ほか | 事業内容 | 人数 |
|---|---|---|---|
| 地下書庫の電動集密書架の改修 | 10月17日(火)～11月28日(火)<br>中央図書館 | 中央図書館地下書庫２層の出納業務を停止し，電動集密書架の老朽化対策として実施した改修工事に伴う書籍の梱包作業，搬出と一時保管，搬入と再配架を実施した。 | ― |
| 電気設備等改修工事 | 6月3日(土)～７月20日(木)<br>富士見分館 | 電気設備及び外壁・屋上の改修工事を実施した。 | ― |
| 外壁屋根等改修工事 | 9月21日(木)～平成30年2月2日(金)<br>若葉分館 | 外壁・屋根等の改修工事を実施した。 | ― |